

幼稚園創設期の教育実践にかかわる研究 (3)

- 明治 10 年代後半の保姆養成の実相を探る -

企画・司会	大戸美也子
話題提供者	宮里 暁美 (お茶の水女子大学附属幼稚園) 松村紀代子 (大阪市立愛珠幼稚園) 前村 晃 (西九州大学)
指定討論者	前村 晃 (西九州大学)

【企画趣旨】

明治 12 年 4 月わが国 2 番目の鹿児島幼稚園が豊田英雄等の尽力により開園し、幼稚園が全国的に認知されはじめた。しかし、その矢先の明治 13 年 7 月、わが国唯一の保姆養成機関であった東京女子師範学校保姆練習科(明治 11 年 6 月開設)が廃止された。幼稚園教育の進展には欠くことのできない保姆養成の課題に、関係者はどのように対応してこのピンチを乗り越えたのであろうか。本シンポジウムは、明治 10 年代後半の保姆養成を担った 3 つの機関(東京女子師範学校本科、大阪愛珠幼稚園、東京櫻井女学校附属幼稚園)の養成実態、及びそれらのネットワークの検討を通して、明治 10 年代の保姆養成の特質を明らかにすること目的とする。

【話題提供】

1. 「東京女子師範学校本科での保姆養成」

宮里 暁美

東京女子師範学校保姆練習科は一期生を出した直後に廃止され、本科に編入された。廃止の主な理由は、「幼稚園ト小学校トハ固ヨリ初等教育ノ相連節セル者ナレハ、師範生徒ニシテ保育ノ法ヲ学ハスハ假令小学ノ授業ニ熟達スレドモ女教員トナルコト能ハス」という大義のもと、他に練習科を設置するのは重複と考えたからである。本科の課程で幼稚園教育に関係する科目は、新監事の小西信八が「幼穉保育術」を、ベテランの豊田英雄ら保姆が「実地保育」を担当した。ここでは、改組の背景と経緯及び本科での養成内容の実態、また幼稚園教育に尽くした本科卒業生の足跡についても報告する。

2. 「愛珠幼稚園での保姆養成」

松村紀代子

愛珠幼稚園は、(1) 先進的な気質と教育・福祉に高い志を持つ設立者、(2) 設立者と志を共有しその実現に邁進する力量をもった保姆、(3) こうした設立者と保姆を敬愛する保護者および地域関係者、の三本柱に支えられて保育を展開してきた。長竹国子の首席保姆就任後からは伝習生を受け入れ、明治 19 年には府知事の認可を得て幼児保育法伝習科を設置して、関

西における養成の指導的役割も担ってきた。園の保姆養成の実態を伝える文書を見直して、幼稚園創設期の養成内容と方法について検討し、併せて運営上の課題も探ってみる。

3. 「東京櫻井女学校附属幼稚園での保姆養成」

前村 晃

櫻井女学校附属幼稚園は、東京女子師範学校附属幼稚園をお手本に発足し、東京女子師範学校の保姆が同園で保育することもあった。また、明治 17 年には、鹿児島で豊田の助手をした古市静子が勤務する。ここでは、同年来日した米国のミリケンが開始したキリスト教に基づく保姆養成の実態と課題等を中心に指摘する。

【指定討論】

「明治期第二世代の保姆養成の特色」

前村 晃

東京女子師範学校保姆練習科の廃止は、幼稚園教育の発展にとって、大きなマイナスであった。その後も、同校には全国から期待が寄せられるが、それに応えることは容易ではなかった。

愛珠幼稚園では、長い期間、首席保姆は東京女子師範学校卒業生に求めているが、明治 18 年、長竹国子の後任を探す際にも、東京の小西信八や豊田英雄が苦勞したことは、当時の書簡等が裏付けている。結果的には、大阪では、愛珠幼稚園の保姆養成や氏原 銀らの保姆養成の実績もあって、一時は、幼稚園教育は首都東京よりも興隆を見せるのである。

櫻井女学校では、明治 17 年、米国のミリケンが着任し、キリスト教色の保育者養成を開始する。初期修了生の湯浅初子、吉田 鍼、宗方光にもその影響がみられるが、この時期の保育法は、まだ東京女子師範学校附属幼稚園の交流の実績を抜きに語ることはできない。

総体的に見て、明治 10 年後期における 3 つの機関による萌芽期の保姆養成は、それぞれ課題を抱えながらも、想像以上に、強力なネットワークの中で展開されていったという特色もっている。